

白 い ま ど

OCTOBER
10

がんの治療では、さまざまな専門スタッフが
患者さんを支えています

治療の
サポート
(技師)

がんの
治療
(医師)

心のケア
(看護師)

治療費などの
相談
(社会福祉士)



特集 シリーズ「がん」② がんにはどんな治療法があるの? P-2

- 情報カード 新しい放射線治療装置の設置が始まりました P-8
- 外来紹介 乳腺科 P-9

病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



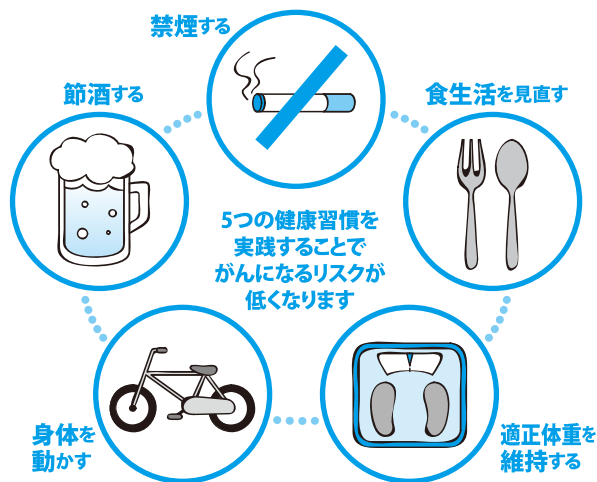
社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

シリーズ「がん」②

がんには どんな治療法があるの？

現在、日本人の2人に1人は、一生のうち一度は「がん」になるといわれています。がんは、日本人にとって身近な病気であり、原因が生活習慣や感染であることもあります。5つの健康習慣を実践することでがんになる確率を低くすることが可能といわれています。

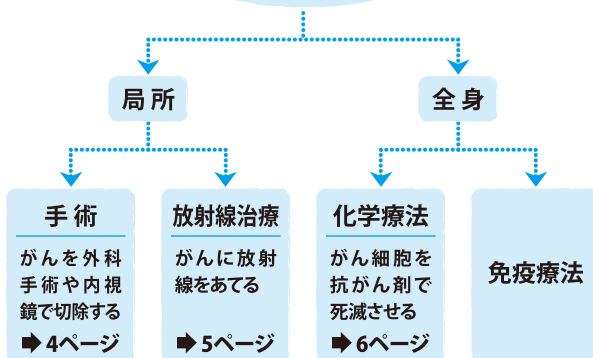


国立がん研究センターがん情報サービス
「科学的根拠に基づくがん予防」より

しかし、多くのがんの原因は解明されていないため、努力していてもがんになることもあります。今回はシリーズ「がん」①(8月号)に引き続き、がんの治療法・相談窓口・治療装置についてご紹介します。

がんの治療法には、がんが発生した局所への治療と、体全体への治療があり病状に応じてどちらか一方、あるいは両方を実施します。がん自体を取り除くための局所の治療として手術で切除する方法(外科手術・内視鏡手術)と放射線治療があり、体全体に対する治療として化学療法(抗がん剤治療)と免疫療法があります。免疫療法は免疫の働きでがん細胞だけを攻撃する仕組みですが開発途上の段階です。

がんの治療法



1 がんを切除する

腫瘍(しゅよう)を作る大多数のがん(固形がん)では、早期であれば発生した臓器の中にとどまっています。リンパや血液の流れによって他の臓器にがん細胞が流れる「転移」や、周囲の臓器に直接入り込む「浸潤(しんじゆん)」がなければ、手術で取り除くことができます。極めて早期であれば内視鏡治療だけで完治したり、内視鏡を応用した外科手術で体に負担の少ない方法も選べるようになっています。リンパ節に転移した場合も近い範囲であれば外科手術でリンパ節と一緒にがん病巣を切除します。



他の臓器に転移した場合は外科手術だけで治すのは難しいですが、大腸がんなどでは転移部分も手術で切除することが有効な場合があります。最近では抗がん剤や放射線を使ってがんを小さくしてから外科手術を行うこともあります。局所療法の中には腫瘍(しゅよう)を切除するかわりに、腫瘍に行く血液の流れを遮断したり、腫瘍に針を刺して熱で焼いたり、レーザーで焼く方法もあります。

2 がん放射線をあてる



脳神経系や発声など重要な機能をもつ部位では、がんの病巣を切除しようとする機能障害が問題となる場合があります。そのような時には、放射線をあてて臓器の機能を温存させながらがん細胞を死滅させる放射線治療を選択します。がんが周囲の臓器にくっついてはがせない場合などでも、技術の進歩によりがんの範囲にあわせて正確に放射線をあてるできるようになり、治療効果が高まっています。また、抗がん剤と一緒に使うことで効果を高める放射線化学療法を実施することが多くなっており、手術に匹敵する治療効果まで得られるようになっています。

3 がん細胞を抗がん剤で死滅させる



転移のために局所療法で治せない場合や、血液のがんのように腫瘍を作らない場合は、がん細胞を死滅させる効果のある抗がん剤を使った化学療法を実施します。抗がん剤の副作用である白血球減少や吐き気に効く薬が開発され、安全に治療が続けられるようになりました。体力が著しく低下していない状態であれば、抗がん剤を使ってがんと戦うことは決して無駄ではないことが科学的にも確かめられています。新しい抗がん剤の開発が進み、さらに、がん栄養を送る血液循環を妨げたり、がん細胞の増殖を防ぐことで治療効果を一層高めることができる新しい補助薬も加わり、寿命を延ばすことに貢献しています。

化学療法が外科手術や放射線治療と組み合わせられるなど、当院では有効な治療法を病状に応じて効果的に組み合わせながら、体の負担を最小限にした治療を実施しています。

がんについて相談したい時はどうすればいいの？

もしも、「がんかもしれない」と言われたら、不安な気持ちでいっぱいになると思いますが、何よりも大切なのは、正しい診断

のために医師の指示のもとに必要な検査を受けることです。そして、「がん」と言われたら、誰でも、不安やショックで落ち込み何も考えられない状態になります。当院にはあなたとあなたの大切な人を支える相談窓口があります。一人で悩まず、まずはご相談ください。そこで、がんに関する専門・認定看護師が、治療のことや生活のことを一緒に考えていきます。仕事を続けながら、または少し休んで社会復帰して、自分らしい生活を続けている人がたくさんいます。

相談内容の例

治るのだろうか、不安で何も考えられない…

治療はどのように決めたらいいの…

治療費はいくらかかるの…

医師の説明が難しくよくわからない…

気がかりなことがあれば、大事な決断をする前にお気軽にご相談ください。

相談窓口 がん相談支援センター（1階 相談コーナー内）

受付時間 平日 8:30～17:00 / 土曜日 8:30～12:15
*日曜・祝日休み

☎053-474-2666(直) ☎053-474-2222(代)

乳腺科

よしだ まさゆき

担当 部長 吉田 雅行

- ▶ 出身地 / 愛知県犬山市
- ▶ 出身校 / 浜松医科大学 (1980年卒)
- ▶ 趣味 / サッカー観戦、乳がん検診を熱く語る

根治性(治る)と整容性(美しさ)を高めた乳がん治療を目指して

昨年、乳がん術後の乳房再建手術の選択肢のひとつであるエキスパンダー(皮膚をのぼす装置)とインプラント(乳房に入れるシリコン)が保険診療で可能となり、今年4月から素材の適応範囲が広がり、より満足度の高い乳房再建が受けただけになりました。

乳がんの手術で、がんを取り残しなく根治性(治る)を求めた結果、切除範囲が広くなり、女性の美の象徴である乳房の形を損なう、あるいは失うこともあります。その時に頼りになるのが乳房再建です。人工物(エキスパンダーやインプラント)や自家組織(自分の身体の一部)を使う方法があります。

今年4月から、当院でも形成外科専門医の協力のもと、これから乳がんの手術を受ける方も、既に受けられた方も、同様に乳房再建が可能となりました。丁寧に対応させていただきますので、ご相談ください。

※初診の方は、紹介状をご用意のうえ予約をお取りください。

●情報カード

新しい放射線治療装置の設置が始まりました

新しい放射線治療装置の設置が7月中旬から始まりました。

約2ヶ月間のメーカーによる組立調整作業が行われた後、当院品質管理部門スタッフを中心に約半年にわたり、より高精度な治療を提供するための準備を進めていきます。皆さんには来年3月から利用していただけるようになります。

近年の放射線治療は、強度変調放射線治療(※1)や定位照射(※2)によって大きく進歩してきました。今回導入の機器ではこの両者の良いところを組み合わせ「ハイブリッド放射線治療」を行うことができますようになります。腫瘍の塊に放射線を集中させて叩き潰しながら、周辺の小さな病巣の広がりには合わせた比較的小さい線量の範囲を無駄なく設定して、副作用低減が可能になります。



▲設置をしている装置



▲品質管理部門スタッフによる調整

文責:腫瘍放射線科 野末 政志 / 放射線部 山田 薫

※1…強度変調放射線治療(IMRT)

当てたいところに高い線量を当て、当てたくないところにはできるだけ少ない線量しか当たらないように制御する治療方法。

※2…定位照射

できるだけ多方向から放射線を集中させながら治療する方法。

*シリーズ「がん」②では、がん相談支援センター相談員の立場からお伝えします。(2015年2月号に掲載予定)



聖隷浜松病院からのお知らせ

新任医師紹介



小児外科
ワタヨウ ヒロコ
濟陽 寛子
東京女子医科大学
(2003年卒)



リハビリテーション科
ワタナベ コウジ
渡邊 浩司
広島大学
(2008年卒)

■ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介・予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時**選定療養費**として**3,240円**を別途ご負担いただいております。

当院では、基幹病院と地域の「かかりつけ医」(医院、診療所等)が役割を分担し、連携しながら適切な医療を提供する「地域医療連携」を推進しています。皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

※初診時は医療機関からの事前予約にご協力をお願いいたします。

妊娠かな?と思ったら…

☎053-474-3067へ
お電話ください

●産科外来直通/月~金 14:00~16:45

- * 妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、紹介状がなくても受診できます。
- * 受診希望日の7日~10日位前までに、産科外来へお電話ください。



聖隷浜松病院 総合周産期母子医療センター

検索



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 **聖隷浜松病院**

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222
発行責任者 病院長 鳥居 裕一